



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行所 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ
照らされて

念力のゆえに
住持して忘れず

齊藤 研



〔略歴〕
一九七六年生まれ。二〇〇六年大谷大学博士後期課程満期退学。
元大谷大学非常勤講師、三条教区正楽寺副住職。二〇一八年高山二組親鸞教室講師。

二年ほど前からだったかと思うが、私が住むお寺には、大体毎日、一人のお爺さんがお参りに来られるようになっていた。夕方になるとフラッと現れて本堂をはじめ、しかも家中を徘徊するのである。繁山さん(仮)である。最初の頃は当然驚いた。玄関に来客の気配がして出てみると誰もいない。はてと居間に戻ってしばらくすると、音もなくヌツと繁山さんが現れるのだから。繁山さんは「本堂がどちらだったか」と困り顔で尋ねてくる。玄関から本堂に行くには、居間にたどり着くよりずっと簡単であるはずだった。トイレから出た時に、出会い頭に直面した時もあった。その

時も本堂の場所を探されていた。
本堂に案内すると、落ちていて日常のお勤めである「正信偈」を読み始める。その後に「御文」が続くこともあれば、「恩徳讃」を読まれていることもあった。ややかすれがかった高音で、素敵な声だった。
ご近所に住む繁山さんは、認知症の症状が出始めてから徘徊も始まったという。お寺参りもそれからだった。そしてセミの鳴く暑い夏も、みぞれ雪が降る寒い冬も、お参りに来られるのはやはり夕方が多かったと思う。いつも息子さんがそっと付いて見守っておられた。我々家族はみんな繁山さんが好きだった。

ポケットにはいつもお菓子が入っていて、帰りに玄関まで見送ると、よくお土産をいただいた。煎餅のことが多かったが、餛飩のこともあった。バナナのこともあった。今日はいただかなかつたなという時も、ちゃんと本堂の内陣にミカンが置いてあったりした。
帽子を被って来られた時があった。お勤め中は当然脱帽される。帰りがけに、「素敵な帽子ですね。航空機のワッペンがいいですね」と褒めてかき気が付いた。繁山さんはもと横須賀で飛行機乗りだったと。七十年以上も前のことである。私が居住まいを正して敬礼の姿を取った時、繁山さんの目の光が強くなった。

そつと手を伸ばされて、真横に大きく張り出した敬礼姿の私の肘が脇腹に付くように、脇が締まるように修正してくれた。さらに手の平は相手に見えないよう、内側に向けてるように直してくれた。随分窮屈なんだなと思っていると、すかさず「海軍航空隊だから」と。軍艦にはどうしても空間に制限があるからで、そういう海軍伝統の所作なのだそう。
いつも私や子どもをこのとを気にしてくれて、言葉をかけていただいた。それでも時々私が誰であるか分からないこともあった。
人は歳を取り、病を身に受け、やがて人生の完成の時を迎える。その中で最後まで覚えていることもあり、忘れてしまうこともある。人間の能力に無駄なものがないとするならば、忘れるということ自体も、人が長い年月をかけて獲得してきた素晴らしい能力なのだと思う。

ある時、本堂裏の通路の段差を踏み外し転倒されたことがあった。慌てて大きく音のした方へ行ってみると、転んで頭をワイヤー入りガラスにぶつけたようだった。ガラスは割れてヒビがはいっていたが、飛び散っていなかった。酷く切つたりはしていなかった。繁山さんは「ああ、やってしまった。ナマングブ、ナマングブ」とつぶやいていた。
いつもナマングブが側におられた。心の深いところに南無阿彌陀仏が絡まっている方だった。情や本能、そういう原始的なものも南無阿彌陀仏が一つになっている、その生きた事実を見せていただいた。そして人がたとえ自分のことを忘れても、南無阿彌陀仏はその人を忘れないのだということを知ることができた。

別院定例法座 午後1時から
7月28日 親鸞聖人ご命日法座
講題 「後生の一大事」
講師 高島 外成 氏(常德寺)

今年のご坊夏まつりは、ご坊修復中につき休止いたします。
また来年お会いしましょう!

大阪府北部地震、平成30年7月豪雨の災害により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

夏の日々講座
8月1日(水) 講師:藤場 俊基 氏(金沢教区常讀寺住職)
8月2日(木) 講師:田中 彰 氏(高山市史編纂専門員・高山歴史研究会会長)
8月3日(金) 講師:川上 哲也 氏(岐阜県議会議員)
8月4日(土) 講師:安藤 弥 氏(同朋大学教授)
8月5日(日) 講師:ロバートF.ローズ 氏(大谷大学教授)
飛驒学場

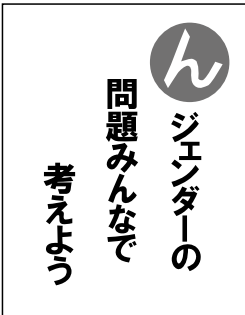
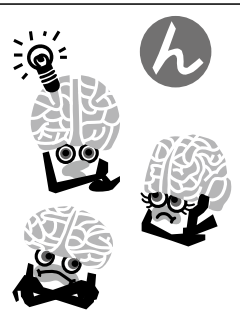
☎テレホン法話(0577)(34)2313 ☎7月21日~31日:長田正二氏「浄楽寺」 ☎8月1日~10日:梅野明秀氏「了宗寺」 ☎8月11日~20日:北條薫氏「了宗寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)13210763

女と男の

女と男の

ナムアミダブツ ⑳

藤場 芳子



ジェンダーの問題みんなで考えよう

性別は「不明」

「自宅に帰ったらご自分の母子手帳をよく見てください。そう言われたのは、15年以上前のある講演会のことでした。産まれた赤ちゃんの性別を記入するページに男・女の他に不明という単語があるから、それを自分の目で確認して欲しいということだったのです。帰宅後、3人の娘の母子手帳をそれぞれ調べてみたところ、講師の言った通り、そこには「不明」という単語がありました。性別の形だけでは決められないというのです。でも2週間以内に出生届けを出す時までは、男女どちらかの性に決めなければなりません。性別には男女しかないと思っていた当時の私にとって、この事実はかなり衝撃的でした。そんな私がLGBTという単語を知るようになるのは、それからずっと後のことでした。

LGBT

最近よく耳にするようになったLGBTとは、Lはレズビアン(女性の同性愛者)、Gはゲイ(男性の同性愛者)、Bはバイセクシュアル(両性愛者)、Tはトランスジェンダー(身体と心の性が一致しないため、出生時に決められた性と異なる性で生きようとする人)の頭文字をとった言葉です。「学校のクラスに左利きの人が必ず一人や二人はいるでしょ?それと同じくらいの割合で私たちは存在するんだよ」と教えてくれたのはトランスジェンダーの友人でした。私たちの身近にいるけれど、今までは「見えない存在」にされたり、見えてもからかいの対象になっていた人達がLGBTという言葉が生まれることによって、「見える存在」になり、さらに同性同士の結婚をパートナーシップ制度として認める自治体も出てきました。

「弟の夫」

先日「弟の夫」というテレビ番組を観ました。このタイトル、みなさんはすぐに理解できますか?私は始め「弟は男なのに、なぜ夫がいるのか」と思いました。しばらくして理解できましたが、私の中に凝り固まった先入観があることを実感しました。物語の主人公は日本人の双子の兄です。ある日、カナダに住んでいた弟が亡くなり、その夫・マイクが日本の家を初めて訪ねて来ました。カナダは同性同士の結婚が法律で認められています。兄は同性愛者であるマイクを当初受け入れられなかったのですが、しばらく一緒に暮らすうちに心が変化していきます。そして

弟が14歳の時に「僕はゲイだ」と自分に打ち明けたことを思い出します。でも、その日以来、兄弟の会話がなくなっていました。なぜあの時、もっと真剣に話を聞かなかったのか、兄は弟の気持ちにやっとなき合おうとします。近所の人の偏見、誰にも打ち明けないで暮らしている人など、様々な問題が描かれています。原作がマンガだと知ってビックリしました。LGBTがこんな風に表現されるようになったのですね。

決めない生き方

今回の句は「ジェンダーの問題みんなで考えよう」です。ジェンダーとは社会的、文化的に作られた性差のこと、私たちは無意識のうち「女(男)のくせに〇〇だ」と判断しています。でもLGBTという言葉によって、ジェンダーは二元論では語れない、もっと多様性、重層性のあるものだということがわかってきました。身体の性、自分の性別をどう認識するか、また性的指向は何かなど、実際には一人ひとりが違っているのです。最近では「みんなのトイレ」という性別を問わないトイレを見かけるようになりましたし、これまで女子の制服はスカートと決まっていたものが、ズボンも選べるようにした学校も出てきました。レインボーカラー(虹色)は性の多様性を象徴し、同性愛者や支持者たちがパレードする時の旗の色になっています。色に優劣なし。「色めがね」という偏見や思い込みから解放され、自分らしく生きたいものです。

次回は佐賀枝夏文さんの「人生の「こんなこと」「あんなこと」④」です。

子ども作品展休止のお知らせ

高山別院の報恩講では、毎年飛騨地域の小中学生に書道作品をご応募いただき、展示・表彰を行ってまいりましたが、飛騨御坊御遠忌750を控えた本年は休止とさせていただきます。いつも応募してくださる皆様、楽しみにしてくださる皆様には大変恐縮ですが、ご理解を賜りますよう何卒よろしく願いいたします。

壇案内

ご壇は、各寺院を会処にご坊が向いてご門徒とつどう開法の場です。

7月

21日(土) 法正寺[朝日町]
22日(日) 西教寺[朝日町]
大徳寺[高根町]

8月

8日(水) 秋聲寺[八日町]
18日(土) 法蓮寺[白川村]
常徳寺[白川村]
常照寺[朝日町]
蓮光寺[白川村]
浄覚寺[山田町]
福寄同行[清見町]
瓜栗同行[国府町]
浄樂寺[白川村]
西光寺[清見町]
了因寺[清見町]

ひだご坊HPに御遠忌に関する情報を更新しました!是非ご覧ください



ご坊特製蓮の実念珠

ご坊蓮池で採れた蓮の実を使って念珠を作りました。1つ5,000円。残りわずかです。



お問い合わせは高山別院事務所(0577-32-0688)まで。

夏休みおつとめ会開催寺院

- ※時間に記載のない寺院はラジオ体操後
【高山】
本教寺(0577-32-1748)
夏休み中の平日(お盆まで)
秋聲寺(0577-33-9324)
7/21(土)から毎日
園徳寺(0577-34-4555)
夏休み中毎週火・木曜日
西蓮寺(0577-33-8090)
7/23(月)~27(金)
随縁寺(0577-32-2567)
7/21(土)、28(土)(会場:随縁寺)
午前7時半~
7/24(火)(会場:下切町公民館)
誓願寺(0577-32-5241)
7/21(土)~30(月)
【丹生川】
還來寺(0577-78-1071)
7/23(月)~31(火)
【朝日】
西教寺(0577-55-3632)
7/23(月)~31(火)のうち不定期4回開催
午前6時45分~午前7時15分
【国府】
南春寺(0577-72-2836)
7/20(金)~31(火)の平日
西念寺(0577-72-4585)
7/23(月)~25(水)・30日(月)・31日(火)
(会場:金桶公民館)
7/23(月)~28(土)(会場:西念寺)
7/29(日)~31(火)(会場:桜野集会所)
【荘川】
淨念寺(05769-2-2094)
7/25(水)~8/24(金)
午前6時半~午前7時半
寶藏寺(05769-2-2124)
7/23(月)~26(木)
蓮勝寺(05769-2-2043)
7/24(火)~8/9(木)(会場:下野々侯公民館)
8/17(金)~25(土)(会場:蓮勝寺)
【白川】
常徳寺(05769-5-2029)
7/21(土)~30(月)

子ども会開催寺院

- 【鉄砲町】
真蓮寺(0577-34-2507)
7/25(水)
8/26(日)午前10時~11時半
専念寺(0577-34-2506)月1回開催
7/22(日)午前10時半~午後12時
【岡本町】
願生寺(0577-32-0032)月1回
土曜日曜日 午前9時~午前10時半
【下之切町】
西蓮寺(0577-33-8090)
7/22(日)午前10時~11時半
【漆垣内町】
園徳寺(0577-34-4555)不定期開催
【山口町】
了心寺(0577-32-5956)
毎週日曜日 午前8時半から
【丹生川】
還來寺(0577-78-1071)不定期開催
毎月2~3回(隔週)午前9時から
【一之宮】
往還寺(0577-53-2004)月1回開催
8/26(日)午前8時~9時
【久々野】
久々野教会(0577-53-2004)月1回開催
8/19(日)午前8時半~9時半
【宮田】
賢誓寺(0576-55-0747)
7/24(火)午前9時~12時
おとまり会
8/17(金)~18(土)
【小坂】
淨福寺(0576-62-2208)
① 7/25(水)午前9時半~11時
② 8/8(水)午前10時半~12時
③ 8/24(金)午前9時半~11時
【白川】
常徳寺(05769-5-2029)
9/4(火)午後7時~午後8時(親子報恩講)
お近くの寺院へ是非ご参加ください!